

北海道一級河川環境保全連絡協議会網走地方部会幹事会(常呂川関連)
～常呂川をきれいにしたいね～ 情報共有会メモ

開建)

森づくりセンターには、苗の提供や植樹に関する技術的な指導など様々ご協力いただきたい。

森づくりセンター)

できる限りのことはしたい。

置戸町、訓子府町)

鹿ノ子ダムのチップ舗装について、昨年施行したが現状では思ったほどの流出もなく概ね良好。今後モニタリングをしていく。

佐藤研究主任)

法面の浸食・崩壊の有無といった周辺の状況や道路の曲りなどを考慮して、ゴム製の水切りや横断管を入れるなど、こまめな管理が必要。補修は人力で敷きならしが可能であり簡単。実際に大型車で走行した運転手に走行性や安全性について感想を聞くとよい。間伐等の業者にチップ材を敷設した意味を説明した方がよい。

JA きたみらい)

農協としては農地からの生産性を上げそして農地の保全を図りながら組合員に指導・実践を取り進めています。

大規模な土地改良事業は関係機関と協議しながら計画的に取り進めていますし農地の維持管理に必要な心土破碎・暗渠排水・秋起こしなど行なうよう指導を図り農地保全に取り組んでいます。

NPO 法人常呂川自然学校)

普及啓発活動について、川の問題を考えるにつけ川の中からさまざま考えることが重要。その意味で、川に親しむ活動を行うのは重要。農業者が現場を見るようにする。一度来てもらうとリピーター率も高く、きっかけができれば関心は高い。

佐藤研究主任)

SS や濁度を図るには高価な計器など費用がかかるが、透視度計であれば HP に作成方法が掲載されている。また、作成とともに計測も簡易出ることから、普及啓発の面でも活用できる。

支庁)

事業の許可を出すさい、濁水対策に気を付けたい。

開建)

形や規模は変わるかもしれないが、来年も一度はこのような場を設けたい。